

第2回 鈴鹿亀山地区広域連合 介護保険運営委員会 議事概要

日時 場所	平成29年12月12日(火) 午後1時00分～午後3時00分 鈴鹿市役所 本館12階 1202会議室
出席委員	14名 貴島 日出見 委員, 西城 英郎 委員, 林 隆俊 委員, 中澤 直美 委員, 渡邊 勝也 委員, 玉田 香 委員, 岩崎 清隆 委員, 中川 久子 委員, 谷川 博子 委員, 渥美 秀人 委員, 出口 学 委員, 加藤 綾子 委員, 中井 恵美 委員, 田中 勢津子 委員,
事務局	鈴鹿亀山地区広域連合: 市川事務局長, 山中介護保険課長, 管理GL前川, 給付GL 伊藤, 指導GL竹内, 認定GL藤本, 加納, 川嶋, 近澤, 鈴鹿市長寿社会課, 鈴鹿市健康福祉政策課, 亀山市長寿健康づくり室, 地域包括支援センター: 鈴鹿中部
欠席委員	なし
傍聴人	3名

1. 事務局長あいさつ

2. 委員会成立の確認, 委員会の公開決定, 議事録作成の確認

3. 議事

(1) 鈴鹿亀山地区広域連合第6期介護保険事業計画 平成28年度進捗状況について

・広域連合より全体の概要(年齢別人口, 要介護認定者数), サービス提供基盤整備計画に対する平成28年度中の選定状況, 給付費執行状況等を説明した。また実施主体である広域連合, 鈴鹿市, 亀山市より平成28年度中の進捗状況をそれぞれ重点項目にしぼって報告をした。

(岩崎委員)

さまざまな課題を浮き彫りにし政策につなげるための組織として, 地域ケア会議を設置するとなっているが, 政策決定にまでつながっているのか。

(事務局)

すべてが政策決定にまでつながっているわけではないが, 認知症初期集中支援チームなどは事業化して政策決定にまでつながっている部分もある。

(渥美委員)

訪問介護については, ほぼ横ばいで推移しているが, これはサ高住でもっているようなものであって, 訪問介護自体は減ってきていると思う。このようなことから在宅介護のあり方が変わってきていて, 身体介護の部分が少なくなってきたように思われる。

(中井委員)

最近, 介護関連の施設をもっとつくりたいという署名が回ってきた。今は介護施設を何でもどんどんつくっていい時代ではないかと思いつつ, 署名を見ていた。

(貴島会長)

要介護3以上の方が特別養護老人ホームの入所条件であるが, 要介護1, 2の方にとってはなかなか行き場のない状況にもなっている。

(玉田委員)

聞くところによると、どこの特別養護老人ホームでも待機者は50人を切っている状態であるらしい。

(田中委員)

最近、特別養護老人ホームに入りやすくなったと聞くことがある。

(谷川委員)

認知症の方は、認知症の方どうしグループホームに入所して生活するのが良いと思うが、グループホームの入所の状況として、料金が高額で払えないため入所をためらっているという方も見える。グループホームには特別養護老人ホームにあるような軽減措置がないため、入所をためらっているようである。グループホームにも特別養護老人ホームにあるような軽減措置をとっていただきたい。

(事務局)

他市の先進事例等も確認しながら、検討してまいりたい。

(2) 地域密着型サービス事業所の指定更新について

指定更新時期を迎えた鼓ヶ浦デイサービスセンター、おおえのき接骨院デイサービス住吉、さくらさくら通所介護事業所、介護付き有料老人ホームみっかいち について、事務局より資料2～資料5をもとに説明をする。

(貴島会長)

申請書の中で、管理者の住所等が黒塗りで消されている部分と消されていない部分があるが、取扱いが違うのか。

(事務局)

管理者の住所については、事業所の所在地と同じであれば消していない。

(貴島会長)

地域密着型サービス事業所の指定更新については、過去に大きな違反や問題があった事業所については運営委員会で諮ることとなっているが、今回の4つの事業所については過去に大きな違反や問題がないため、事務局の判断どおり指定更新することとし、運営委員会に報告いただいたということにさせていただいてよいか。

委員 承認

(3) 地域密着型サービス事業所の廃止申請について

おおえのき接骨院デイサービス稲生から提出された廃止申請について、事務局より資料6をもとに説明をする。

委員からの質問、意見等は特になく、委員 承認

(4) 地域密着型サービス事業所の休止申請について

デイサービスセンターかがやきの杜鈴鹿とおおえのき接骨院デイサービス住吉から提出された休止申請について、事務局より資料7と資料8をもとに説明をする。

委員からの質問，意見等は特になく，委員 承認

(5) 特定施設入居者生活介護事業者の指定・選定辞退について（非公開）

(6) 地域密着型サービス事業所の指定申請について（非公開）

(7) その他

(山中課長) 地域密着型通所介護について，鈴鹿亀山圏域ではすでに給付見込を充足しているものと考え，制限をかけていく方向で進めていきたいと考えている。また，県指定の通所介護についても県と協議し，制限していく方向で考えている。

(事務局)

次回の会議は，第4回計画策定部会を12月21日（木）13時から同会場の1202会議室で開催予定である。ご参集いただくようお願いする。